



独自技術で
より正確に



KONICA MINOLTA

ファームアイ リモートセンシング

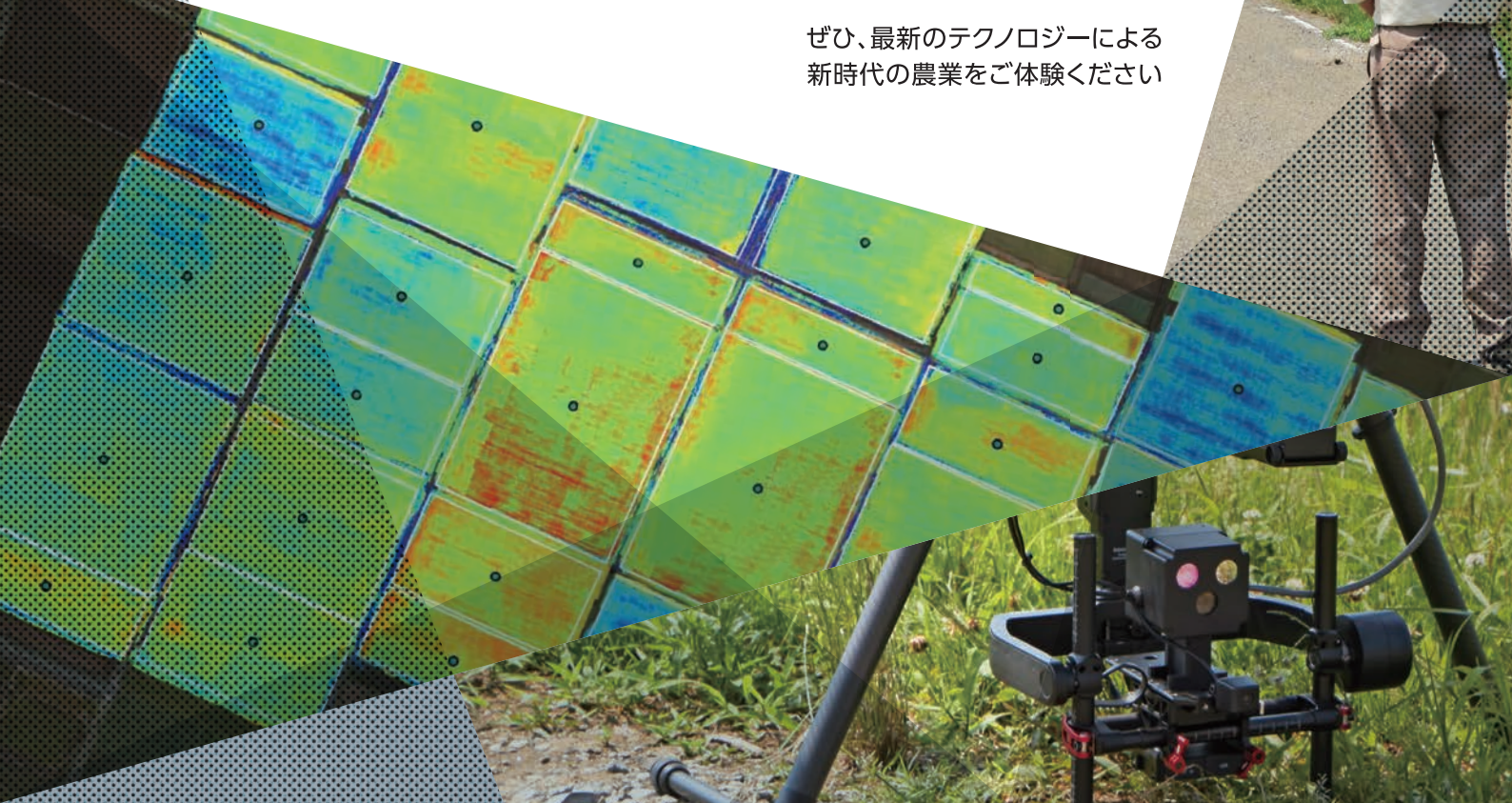
ほ場の見える化

ほ場改善 ソリューション提案

ヤンマーとコニカミノルタの先進技術で、農業を変える

ドローンで撮影したデータをもとに
さまざまなソリューションをご提案いたします

ぜひ、最新のテクノロジーによる
新時代の農業をご体験ください



ヤンマーとコニカミノルタの先進技術で、農業を変える

農林水産省の実証事業(ISSA山形)から3年を経て、
ヤンマー社とコニカミノルタ社が出資し、2017年10月1日設立。
両社の優れた技術力を結集し、リモートセンシングを推進。
農業界への貢献により、豊かな社会を目指していく会社です。



ファームアイが提供する「リモートセンシング」

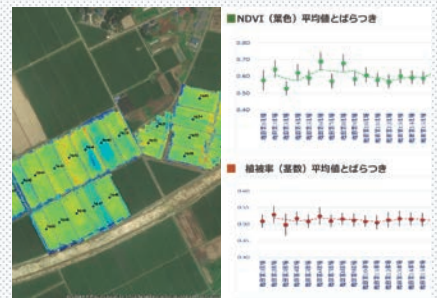
1 リモートセンシングとは

特殊カメラを積んだドローンで、幼穂形成期の稲を上空から撮影し、生育状況として葉の色と、葉の茂りを見える化するサービスです。
撮影作業はファームアイのオペレーターがお客様のほ場に出向き、ドローンを使って空撮します。撮影した画像はファームアイ独自の技術で解析し、「生育マップ」を作成します。生育マップはリモートセンシングの結果として撮影から5日後にお客様にご提供いたします。



2 生育マップとは

生育マップの色分布で、生育状態の良し悪しを表現します。ほ場ごと・ほ場内での生育状態、バラつきが一目瞭然です。従来は人の手による計測で、「点」でしか把握できなかった値を「面」で見える化することができます。
この生育マップを使って生育不良やバラつきの原因を推定し、ほ場の改善を行うことで、収量向上や品質改善が実現します。



生育マップの内容

- ①NDVI(葉色)マップ
- ②植被率(茎数)マップ
- ③NDVI×植被率(窒素吸収量)マップ
- ④解析結果グラフ

①NDVI(葉色)マップ ④解析結果グラフ

3 スマートアシストとの連携

生育マップはヤンマーが提供するスマートアシストで確認することができます。インターネットに接続された環境であれば、場所と時間を問わず生育マップを確認できますので、従業員の方との情報共有も行えます。また、ファームアイ独自の解析技術で、撮影時間や天候による光量や光の角度の影響を受けない解析結果を出せるため、生育マップを経年で比較することができます。
ほ場の改善作業に対して毎年の改善効果を比較できるため、次年度への効果的な改善策を打つことができます。



※開発中のため、画面イメージは変更する場合があります。

ファームアイ株式会社

〒530-8321 大阪市北区鶴野町1-9
farmeye.co.jp



撮影段取り・料金は下記へお問い合わせください。

ヤンマーアグリジャパン株式会社
九州支社 南九州営業部内

営農推進グループ(熊本駐在)

電話 096-378-8151 FAX. 096-378-8157

このカタログの内容は、予告なく変更することがあります。



この印刷物は植物油インキを使用しています。